

伊那新校（仮称）再編実施基本計画

1 再編統合対象校

伊那北高等学校、伊那弥生ヶ丘高等学校

2 募集開始（開校）年度

令和 10 年度

今後両校の学校規模の縮小化が避けられない状況の中、できるだけ早期の統合が必要であること、施設の整備期間等を考慮し、令和 10 年度を新校の募集開始年度とする。

3 活用する校地・校舎

伊那北高等学校

日常行われる教育活動の充実につながる校舎と一体となっている敷地（校地）の広さを考慮し、伊那北高校を新校の校地校舎として活用する。
併せて、伊那弥生ヶ丘高校の第 2 グラウンドも有効に活用する。

4 設置課程・学科及び開校時に想定する募集学級数

全日制課程 普通科 6 学級、特色学科 2 学級

※学科の名称等は、今後編成する教育課程等に基づき、開校前年度に決定する。

普通科と特色学科を設置し、新たな学びに対応したシステムを導入する。
上伊那地域の中学校卒業予定者数の推移や現在の募集学級数から、新校の開校年度には 8 学級程度が想定される。
※新校開校時の募集学級数は、毎年度定める「長野県立高等学校生徒募集定員」により開校前年度に決定する。

5 統合新校の学びのイメージ

別紙のとおり

地域と大学、研究機関等との協働した探究を核とし、個別最適な学びを実現する、「自らの可能性を切り拓き、夢の実現に果敢に挑戦する高校」を構想する。

6 統合新校の施設整備について

新校の学びに必要な施設整備及び、高校施設の著しい老朽化と社会や学びの変化に対応し質的向上を図っていく。

・施設整備に係る概ねの期間 6 年程度を想定

自らの可能性を切り拓き、夢の実現に果敢に挑戦する高校

目指す
学校像

- 「探究」を核とした学びを通して、自己実現と社会貢献を目指す
- 他者との協働を通して、多様な価値観を共有し人間性を育む
- 自主的な活動や創造的な活動を通して、主体性を育む

新たな学びに対応したシステム



「探究」をベースにした教育活動
個別最適な学びを実現する“単位制”
文理融合した学び・教科横断型授業の展開
大学・研究機関・企業・自治体などと協働した学び



1年次：必履修科目を中心に履修

2・3年次：自分の学びを自分でデザインし、履修する科目を選択

普通科

探究を核として持続的な学びを実現する学科

- 地域課題を基に日本、世界に目を向け、これからの社会の核となる人の育成を目指す
- ◇ 地元自治体など、コンソーシアムとの連携による、ローカルな視点とグローバルな視点で行う探究活動
- ◇ 自らの興味関心や進路希望に応じて選択ができる多様な科目の設置

特色学科

高度な探究により、卓越した学びを実現する学科

- 学問的真理を追究する意欲、社会の課題解決への挑戦心や使命感を持つ人の育成を目指す
- ◇ 大学・研究機関をはじめ、コンソーシアムとの連携による、応用的・発展的な探究活動
- ◇ 課題研究や先進的な探究を行う科目、高度な内容を扱う科目などの設置

連携・協働

上伊那共学共創コンソーシアム

多様な人々と学び合い、地域課題の解決や地域の活性化・イノベーションの創出を目指すコミュニティ



医療機関



大学



企業



自治体



国際機関



上伊那広域連合

等